

# 製品と可燃物との距離について

製品と可燃物との距離は機種によって異なりますので、詳しくは、工事説明書をご確認ください。  
下記以降には一例を記載させていただきます。

## 【注意】

掲載の形状、寸法などは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## 【FF-96系の製品と可燃物との距離】

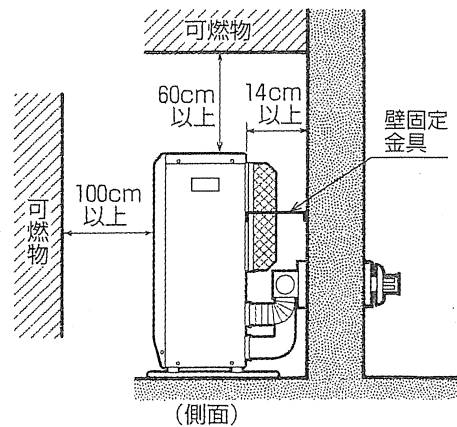
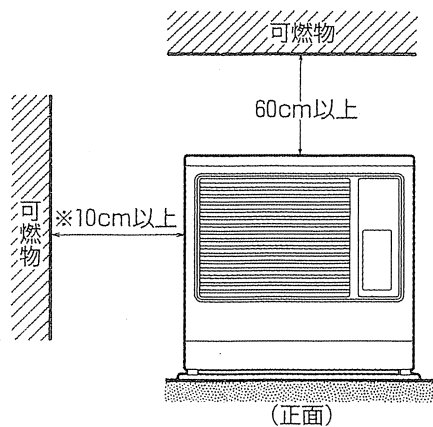
### ★可燃物との距離を離す

#### 標準据付け例

■ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

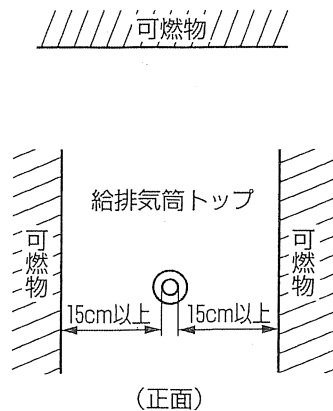
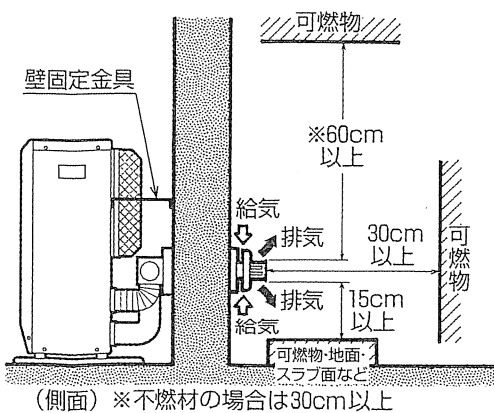


距離



※保守点検のために片側は30cm以上離してください。

■給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



●ストーブは、ストーブに附属された置台の上に据付けること。

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。

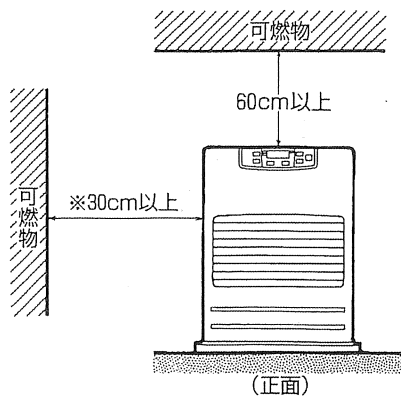
★可燃物との距離を離す

標準据付け例

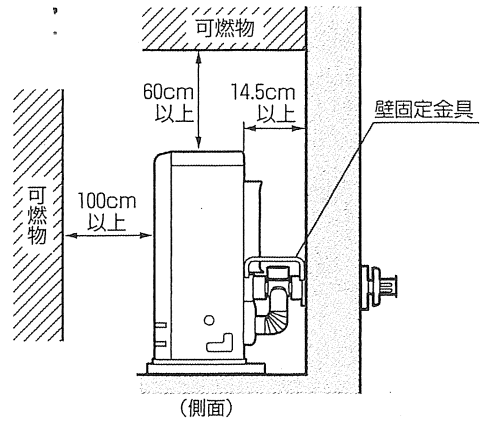


距離

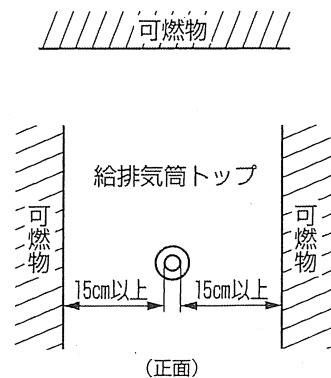
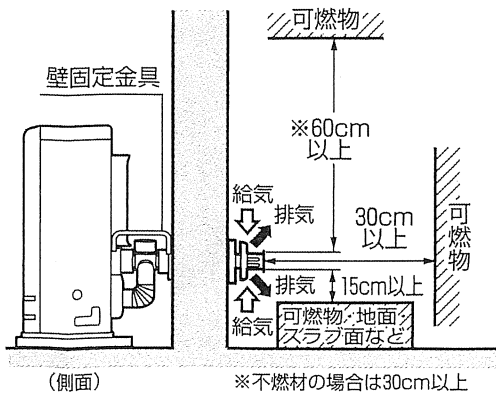
■ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



※保守点検のために片側は30cm以上離してください。



■給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。

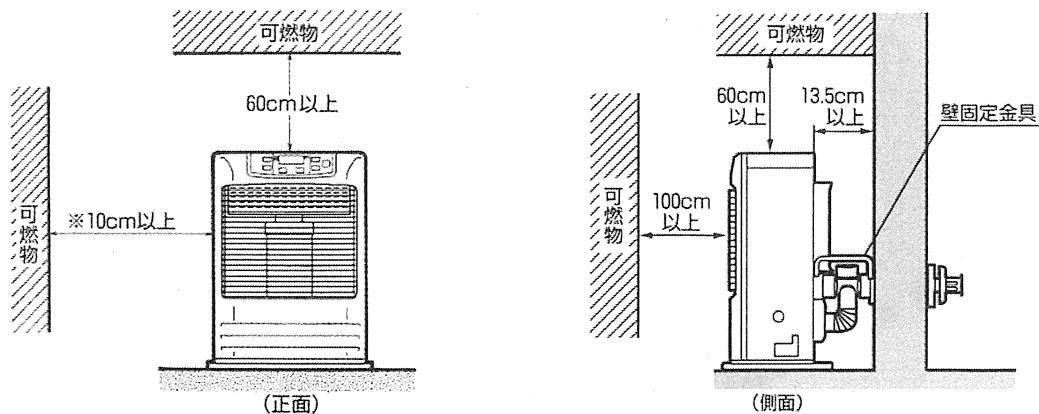
★可燃物との距離を離す

ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

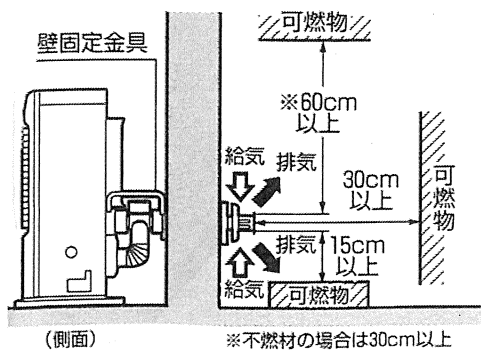


距離

標準据付け例



※保守・点検のために片側は30cm以上離してください。



※不燃材の場合は30cm以上

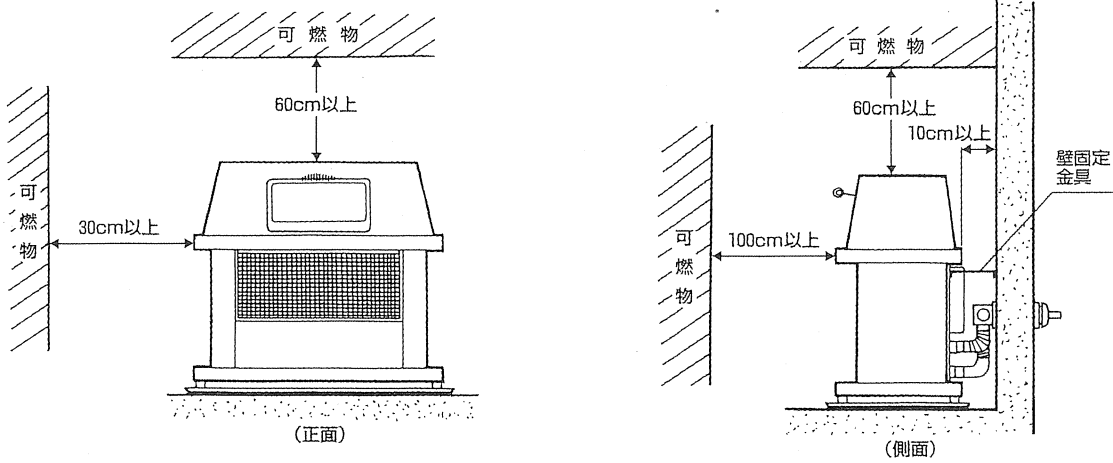
★可燃物との距離を離す

標準据付け例

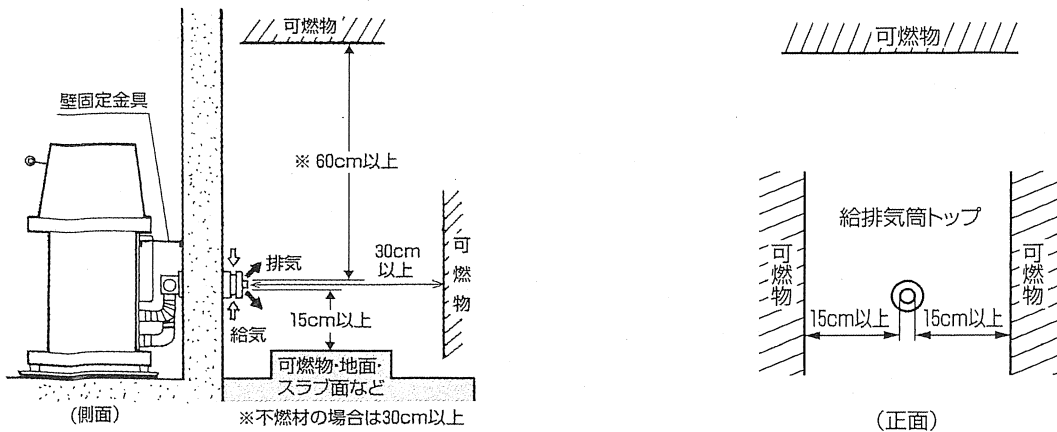


距離

■ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになっています。



■給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになっています。



●ストーブは、ストーブに附属された置台の上に据付けること。

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。

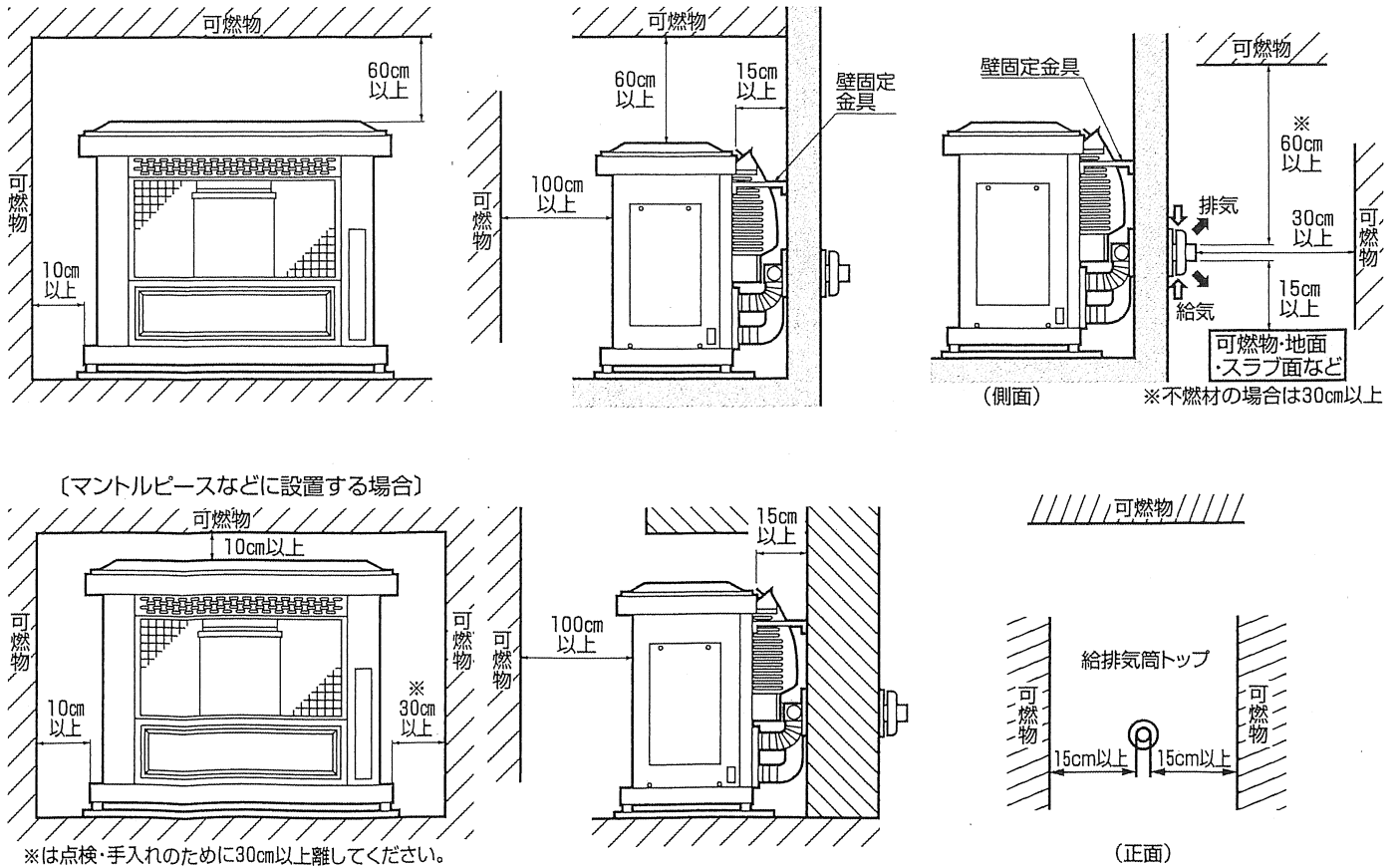
★可燃物との距離を離す

ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



距離

標準据付け例



●ストーブは、ストーブに附属された置台の上に据付けること。

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。

## 【HR-65系の製品と可燃物との距離】

### ★可燃物との距離を離す

#### 標準据付け例

ストーブ、および、煙突から周囲の可燃物までの離隔距離は火災予防条例で規定されていますので図のようになさってください。

A・B寸法は、煙突と可燃物との離隔距離(45cm以上)でも規制されます。

保守・点検も考慮し可燃物との離隔距離が長くなるように設置してください。

ストーブ側面と可燃物は30cm以上離してください。

A寸法(30cm以上)は、ガード遮熱板を取り付けることで、20cmまで近づけることが可能です。

ストーブは、附属品の置台の上に据付けてください。

ストーブの上に物が落下しない場所でご使用ください。

落下物により火災が起きるおそれがあります。

家具等からは十分な距離を離してください。

(熱で変形や、変色、自然発火することがあります。)

